

ほろは  
てねをたふめ。

→ちたね



ぼくは  
おてんこをためた。

おてんこ



さむいかぜが ふく あるひ  
きがつくと ねこは いっぴきでした。  
なまえも ないので

『ねこ』



「ぼくには けづくろい  
してくれる ひとが  
いないんだ。」と

ぽつり。



いたずらな めの カラスが  
やってきて  
いました。

「きったない ねこだねえ。  
かあさんは どこだい？」

そんなの…いないやい」  
ねこは からだを  
ぎゅっと しぼめました。



すると カラスは  
ばさっばさっ とんでいって  
くるりと もどってきました。

「ほら、おたべよ」

たべのこしの さかなを  
ねごに おとしてくれました。



ためしよみ

は

ここまでです